

聖書箇所:創世記49章22節, 詩篇1篇1~3節  
『幸いな人ヨセフ』

【1】 幸いな人

① ベストセラーから見る“幸いな人”

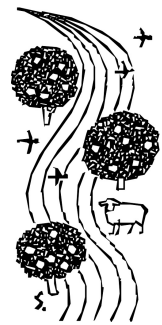
- 金持ち
- 自分らしく生きる人
- なりたい自分になる人

② 聖書から見る“幸いな人”—消極的勧め—(詩篇 1:1)

- 誘惑に対して「\_\_\_\_\_」、「\_\_\_\_\_」、「\_\_\_\_\_」人
- 問われる「甘い言葉」への応答：悪の道に引き寄せられるか離れるか

③ 聖書から見る“幸いな人”—積極的勧め— (詩篇 1:2, 3)

- みことばに価値をおき、自分の喜びとする人
- みことばを口ずさみ、実生活への適応を願う人



【2】 幸いな人、ヨセフ

- ・詩編 1 篇の幸いな人と重なる人物、ヨセフ

—「ヨセフは実を結ぶ若枝、泉のほとりの実を結ぶ若枝…」(創世記 49:22)

- ・波瀾万丈な人生

- 異母兄弟から妬まれ 17 歳で売られて奴隷に
- 誘惑を拒絶したことで投獄され、長期に渡る監獄生活を
- 人から忘れさられる経験

- ・二人の子の名前に反映された人生の労苦

- ① マナセ…『神が、私のすべての労苦と、私の父の家のすべてのことを忘れさせてくださった』
- ② エフライム…『神が、私の苦しみので、私を実り多い者としてくださった』

▷聖書の教える「幸いな人」とは、神がともにいてくださることを信じて生きる人のことです。まことの神を信じ、何よりもみことばを心の中心に据えて歩む時、神はあなたを守り、満たし、どのような状況においても喜びを与えてくださるのです。

「主がヨセフとともにおられたので、彼は成功する者となり、そのエジプト人の主人の家に住んだ。…監獄の長は、ヨセフの手に委ねたことには何も干渉しなかった。それは、主が彼とともにおられ、彼が何をして、主がそれを成功させてくださったからである。」(創世記 39:2; 23)